

# 京都教育大学生協 藤陵祭の取り組み



[激甚災害支援  
・防災]

## 取り組み概要

日時：11/12～11/13 10:00～17:00

場所：京都教育大学生協

参加者数や組合員の反応：10組ほど参加した。学内の学生に限らず、附属校の生徒や近隣の大人まで楽しくゲームに参加した。

背景や概要：京都教育大学では、3年ぶりに学園祭が開催された。学祭では、環境をテーマとした企画をコロナ前は行っており、今年度は防災をテーマに企画を展開した。

防災でつながるみんなの安全

### POINT.1

## 避難所HUGと防災カードシャッフル+について



避難所HUGとは、避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練です。具体的で実践的な避難所運営を疑似体験できます！

防災カードシャッフル+は、AEDの使い方や緊急用トイレの作り方、簡易マスクの作り方などをカードゲームで遊びながら覚えられるゲームです。このような防災の訓練、ゲームを企画の中に用いることで、楽しみながら学ぶことができました。 京都府に地震が多いことやゲーム方式で行うことで、身近に感じ自分事として落とし込んでもらえるようにしているところが素晴らしいですね！

### POINT.2

## 参加者の反応

当日の参加者については、学内の学生だけではなく、外部からの学生や付属の生徒、地域の大人や高齢者などが10組ほど来ていました。難しいテーマではありますが、「ためになった」や「楽しかった」という声が多かったです。 学生委員会も一緒になって学ぶ場面が多く、参加者と一緒に楽しく活動することができました。



### POINT.3

## 大学生協でしかできないこと



教育大学に寄り添ったテーマでありながら、大学生協だからこそできる企画でした。地域の人々を巻き込み、防災について議論できる場になっているため、たくさんの人が防災について目を向けるきっかけになる企画でした。 また、大学内外の方と連携し、「もしも」に備えることも大学生協でしかできない取り組みですね！